

[ローラースケート] 全日本学生

「スピード」で男女とも優勝 「総合」は女子準優勝、男子3位

全日本学生ローラースケート選手権が10月5日から8日まで、長野県の千曲川リバーフロントスポーツガーデンで行われ、スピード部門で男女とも優勝し、ホッケー部門との総合で女子が準優勝、男子が3位となった。

大久保和哉主務(文3・橋本高)は「スピード部門では、男女ともに大差をつけての優勝で、練習の成果を存分に発揮できたと思う」と振り返った。また、女子が4位入賞を果たし、佐藤麻美(文4・所沢高)が敢闘賞を受賞したホッケー部門については「男子は実力を出し尽くせず、悔しい思いをしたので、来年度は雪辱を果たしてほしい」と話した。



▲2種目を制した内山主将(左)

スピード部門の主な入賞者は次の通り。

【男子】▽300メートル・内山浩康主将(ネット情報4・小千谷高)＝1位▽1500メートル・内山主将＝1位
▽1600メートルリレー・市村基裕(文4・岩村田高)・青木啓介(経営3・聖学院高)・大坪康司(法2・中京高)・中村昌照(商2・浦和南高)組＝1位

【女子】▽300メートル・佐藤＝1位▽1600メートルリレー・佐藤・青木菜々子(商2・厚木商高)・御手洗葵(文2・大分上野丘高)・川口久美子(文1・静岡雙葉高)組＝1位

[ローラースケート] 全日本学生

「スピード」で男女とも優勝「総合」は女子準優勝、男子3位

全日本スピードスケート距離別選手権が10月26日から28日まで、長野県のエムウェーブで行われ、男子5000メートルで道下雅史(経営3・白樺学園高)が4位入賞を果たした。

ワールドカップの派遣選手選考会を兼ねており(同種目では3位以上に出場権)、初の出場権は得られなかったが、「良い感じのスケーティングをすることができ、ベストを尽くすことができましたと思いますが、一步届かなかった。これから選抜大会があるので、常に表彰台目指して頑張っていきます」と話した。

また、男子1500メートルでは道下が6位、今野陽太(経営3・白樺学園高)が10位、同5000メートルでは蓑田翔(経営1・白樺学園高)が9位だった。

[フェンシング] 関東学生

女子団体2種目で準優勝 男女全種目で全日本大学対抗へ出場

関東学生フェンシング選手権が10月22日から26日まで駒沢屋内球技場で行われ、女子はフルーレ、エペ団体でともに準優勝、サーブルで6位、男子はフルーレ、サーブル団体でともに4位、エペで6位となり、男女とも全種目で全日本大学対抗選手権の出場権を得た。

個人では女子フルーレで高橋南(経営3・聖霊女子短大付高)が3位、佐々木智子主将(経済4・八千代西高)が6位、女子エペで藤池真理恵(商4・武生商高)が6位、男子フルーレで大久玲(経営3・仙台高)が4位と健闘を見せた。

佐々木主将は「団体戦ではどちらも準優勝に終わってしまったので、インカレでは悔いの残らない試合をし、優勝を狙いたい」と話した。



▲果敢に攻める高橋(左)

(馬場 雄也・ネット情報1)

[準硬式野球] 東都大学準硬式野球秋季リーグ

東海大に勝ち3位 ベストナインに3人選出

東都大学準硬式野球秋季リーグ戦が10月24日で終了し、専大は東海大との最終戦に9—7で勝ち、7勝6敗で今春に続き3位。

ベストナインに一塁手・菊池健太(経済3・専大北上高)、三塁手・久保田真史(商2・太田市立商高)、外野手・加瀬将志(商3・専大松戸高)の3人が選ばれた。

根本雅彦主将(経済4・竜ヶ崎一高)は「自分たちの代は、全日本大学選手権は3位が最高成績だったので、後輩たちにはぜひ優勝してほしい」とエールを送った。

(佐山 竜太・経済1)

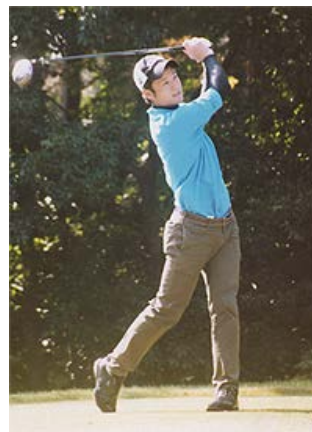
[ゴルフ] 信夫杯(日本大学対抗戦)

男女ともに5位に

団体の大学日本一を決める信夫杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦・同日本女子大学ゴルフ対抗戦が10月25、26の両日、千葉カントリークラブで開かれ、男女ともに5位となった。

また、個人の朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権・同日本女子学生ゴルフ選手権が10月23、24の両日、同コースで行われ、男子1人、女子3人が参加。専大最高は木村麻希(経済2・明德義塾高)の16位タイだった。

この結果に宮里政志(文2・鹿島学園高)は「部のまとまりは良かったが、今回のような難コースでのプレー経験が乏しいので改善したい」と話し、片野由布女子主将(法4・堀越高)は「皆にはたくさん助けてもらって感謝の気持ちでいっぱいです。部員一人ひとりの実力はあると思う。それだけにもう少し上に行きたかったので少々残念です」と語った。



(新海 城生・経済3) ▲チームトップの成績を残した高橋賢

[野球] 東都大学野球<2部>

秋季リーグ5位

東都大学野球秋季リーグ戦(2部)の全日程が10月24日に終了し、専大は4勝7敗の勝ち点2で5位に終わった。

1勝1敗で迎えた最終日の東農大戦。1回裏に先制点を奪われ、8回裏にも1点追加されて0—2で迎えた9回表、専大は河野上一馬(経営1・高陽東高)のレフト前ヒットをきっかけに、一気に3点を奪い逆転勝利で最終戦を終えた。

今季は結果が出せなかったが、来春のリーグ戦で2部優勝、1部復帰を勝ち取ってほしい。

(庄子 亮介・文1)

[バスケットボール] 関東大学リーグ

男子4位、女子7位

関東大学バスケットボールリーグ戦は6勝8敗の4位に終わった。最終戦を勝利で飾り、後藤誠吾主将(経済4・大分舞鶴高)は「全日本学生につなげたい」と話した。(渡辺 知美・文1)

また、関東女子学生バスケットボールリーグ戦は4勝10敗の7位。10月28日に行われた2部2位の学芸大との入れ替え戦に3点差で勝利し、残留を決めた。

(松本 かおり・文2)

[陸上競技部]

箱根に向け貴重な経験 各地の駅伝で好走

10月19日から10日間、西日本各県対抗九州一周駅伝が行われ、関東学連チームとして米山昇吾(経済4・堀越高)、石垣弘志(経済2・鎌倉学園高)が出場した。米山は4日目の2区で区間3位の快走。実業団の大会に、オープン参加したチームの総合4位に貢献した。加藤覚監督は「箱根に向け、良い経験を積むことができたと思う」と話した。

また新潟県縦断駅伝(10月20、21日)に佐藤豪(経済1・村上桜ヶ丘高=村上市代表)が、日中青少年友好駅伝(10月27日、中国遼寧省瀋陽市)に草野建(商4・鳥栖工高)、山本浩平(経営1・八頭高=ともに川崎市選手団)が出場し、好走した。

(松本 かおり・文2)

[剣道] 全日本学生

ベスト16に終わる

全日本学生剣道優勝大会が10月28日、日本武道館で行われた。専大は1回戦で広島大、2回戦で清和대에勝利したものの、続く3回戦で明大に1-2で敗れ、ベスト16に終わった。

恒次勝利監督は「もう一つ上にいきたかった。何かが足りなかったのだと思う。勝負は何か一つのことの流れが大きく変わる。それをつかめるようにならなければ」と語った。

(松本 かおり・文2)

リーグ戦途中経過

※11月14日現在

◇アイスホッケー部

関東大学秋季リーグ戦(12月2日まで、ダイドードリンコアイスアリーナ)は、白星発進するもその後5連敗を喫し、1次リーグは2勝7敗・勝ち点6で暫定順位は7位となっている。

(新海 城生・経済3)

◇アメリカンフットボール部

関東大学リーグ戦(11月24日まで、アミノバイタルフィールドほか)は、4連敗と苦しいスタートとなったが、帝京大に54-7、武蔵工大に21-7で連勝。チームは尻上がりに調子を上げている。気持ちをリセットして残り試合に挑む専大グリーンマシーンに期待したい。

(久田 照喬・商1)

◇サッカー部

関東大学リーグ戦(2部=11月24日まで、拓殖大学グラウンドほか)は第20節(11月11日)で1位・尚美学園大に2-1で勝利し、13勝4敗3分・勝ち点42で首位に立った(2位以上は自動昇格)。また、19ゴールで得点ランキングトップを走り続ける荒田智之(商4・清水東高)のタイトル獲得にも期待がかかる。

◇ラグビー部

関東大学リーグ戦(2部=11月25日まで、日大稲城グラウンドほか)は5、6戦で日大、埼玉工大に連敗を喫し、ここまで4勝2敗。残り1試合も強豪・山梨学院大との対戦で厳しい戦いが予想されるが、うまくチームが機能すれば、好ゲームになるだろう。悲願の一部復帰を期待したい。

(松本 かおり・文2)

新応援グッズが完成 体育事務課で配布

来年1月の『箱根駅伝』に今年も本学陸上競技部が出場します。体育事務課で応援グッズを配布していますので、お正月はグッズを持って応援ポイント(本紙12月号に掲載予定)に集まろう!

▽配布日=12月1日(土)~21日(金)

▽配布場所=【生田】体育事務課、正門、9号館インフォメーション【神田】1号館B1インフォメーション、6号館入学センターインフォメーション

